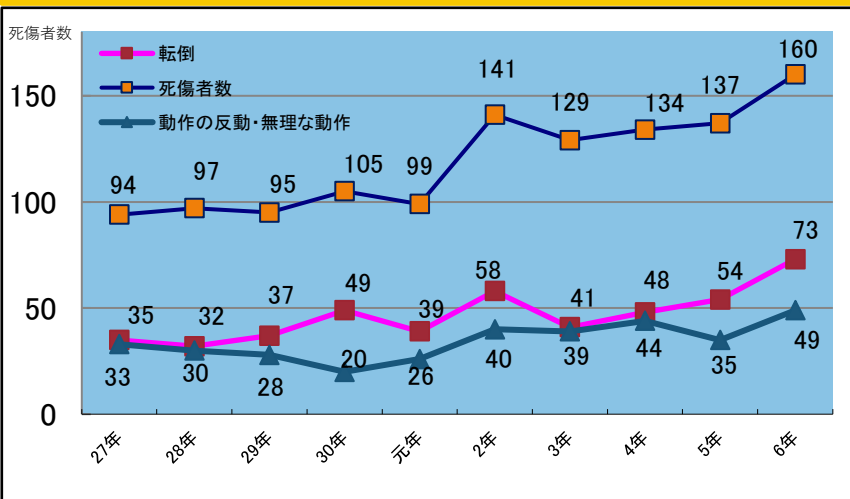


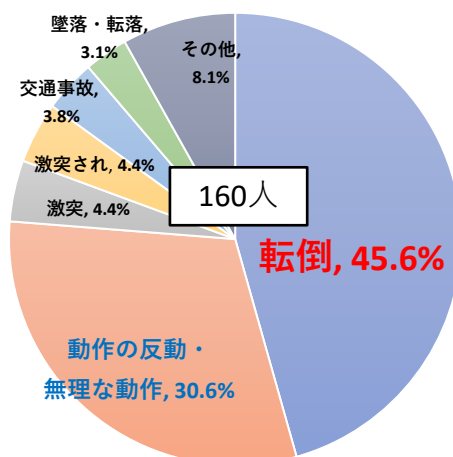
社会福祉施設（介護施設）の労働災害が増加しています！

令和6年に愛媛県社会福祉施設で発生した労働災害のうち「転倒災害」が約4割を占めています。

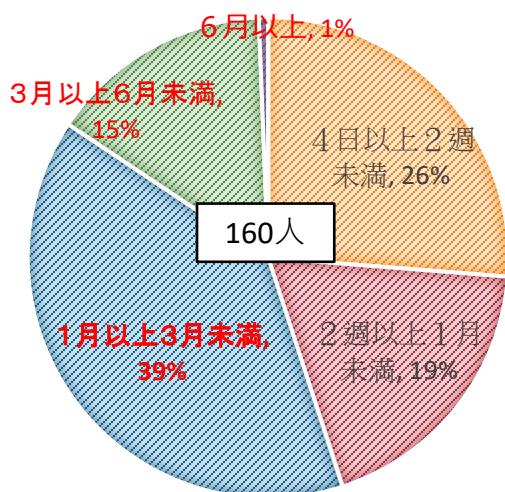
社会福祉施設の労働災害（愛媛県_休業4日以上）



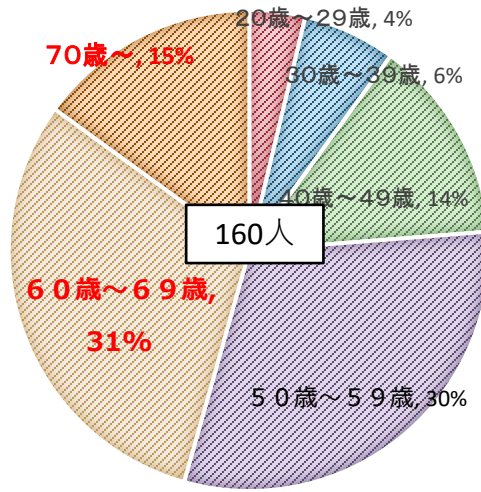
<事故の型別 令和6年>



<災害（休業）程度別 令和6年>



<年齢別 令和6年>



【Point!】

- ◎社会福祉施設の労働災害は増加傾向にあります。
- ◎年齢別では、**60歳以上**が約5割を占めています。
- ◎事故の型別では、**転倒災害が約4割**及び**動作の反動が約3割**を占めています。
- ◎災害（休業）の程度別では、骨折等により**1月以上の休業**を要した災害が約5割を占めています。
- ◎事故の型について、動作の反動等の労働災害のほとんどが腰痛に分類されており、近年増加傾向にあることから、ノーリフトケアを推進しています。

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください！

愛媛県介護施設 + Safe協議会・愛媛労働局

詳細はこちら



行動災害防止対策のポイント・視聴覚教材

事例1 ◎ 食堂・浴室等（転倒）

<災害事例>

- ・浴室、食堂調理場において、床が濡れていたため足を滑らせ転倒した。
- ・脱衣場で、介護作業をしていた歳に、足を滑らせ転倒した。

<対 策>

- 床面が濡れた場合には、完全に拭く。
- 脱衣場等の段差により転倒する危険性を考え、段差をなくし、濡れた床等で滑らないようにするために、防滑用シートの上にタオルなどお敷き詰め、タオルを随時交換する。

<好事例>

- ・脱衣場の出入口等にコイルや珪藻土を床に敷き詰める。
- ・調理場等の床を滑りにくい床にする。



事例2 ◎ 補助作業等（腰痛）

<災害事例>

- ・介護者をベットより抱え上げる際に、腰を痛めた。
- ・入浴作業中、介護者を浴槽より抱え上げた際、腰を痛めた。

<対 策>

- 介護職員の身体的負担を軽減するための取組全般を指し、福祉用具の使用に限らず、作業姿勢や重量物取扱い作業の改善、健康管理、教育や管理体制の整備などによる介護職員の腰痛予防の取組を行う。

<好事例>

- ・事業場においてノーリフティングケアについての取組を実施。

詳細はこちら

高知県介護人材サイトより引用



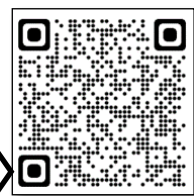
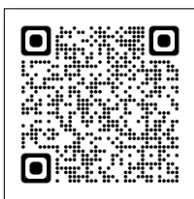
好事例の紹介

詳細はこちら

見える化の紹介

右のリーフレットは「職場の見える化」について解説した実践マニュアルです。

詳細はこちら



SAFEコンソーシアムの紹介

増加傾向にある労働災害（特に、日常生活でも発生しうる転倒や腰痛などの災害）の問題を自分ごととしてとらえ、顧客や消費者も含めたステークホルダー全員で解決を図っていくため、趣旨に賛同した企業、団体がコンソーシアムを構成し労働災害問題の協議や、加盟者間の取組の共有、マッチング、労働安全衛生に取り組む加盟メンバーの認知度向上などをサポートしていく活動です。

SAFEアワードでは、全国の好事例を掲載しています。



労働者向け労働災害防止教育用動画は、「職場のあんぜんサイト」の各種教材・ツールから視聴出来ます。

詳細はこちら



【腰痛予防対策（保健衛生業）】



エイジフレンドリーガイドライン



詳細はこちら



愛媛県介護施設 + Safe協議会・愛媛労働局